

# DATA

# Panasonic Homes

パナソニック ホームズ グループ  
環境パフォーマンスデータ 2023

# 地球温暖化防止に関する環境パフォーマンス

## 自己評価基準



2022年度 目標を達成しました。



2022年度 目標未達でしたが、前年度より改善しました



2022年度 目標未達および前年度より悪化。

目的

部門

INPUT

合計 400,572 GJ

総発熱量 166,122 GJ

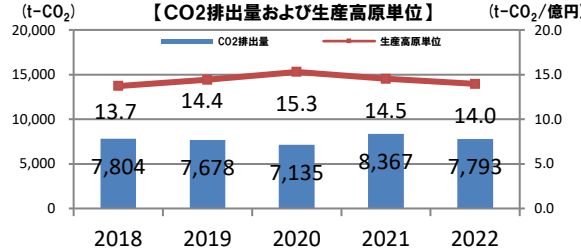
エネルギー

電力	12,053,070 kWh
電力(夜間)	1,461,395 kWh
A重油	138,830 L
LPG	5,126 kg
LNG	372,470 kg
灯油	8,016 L
軽油	160,970 L
揮発油(ガソリン)	70 L

OUTPUT

合計 21,538 t-CO<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>排出量 7,793 t-CO<sub>2</sub>



2022年度  
実績/目標

自己評価

CO<sub>2</sub>排出量  
生産高原単位

14.0  
/15.1  
t-CO<sub>2</sub>/億円



生産

部材生産、研究・開発  
製品試験、倉庫、事務所

物流

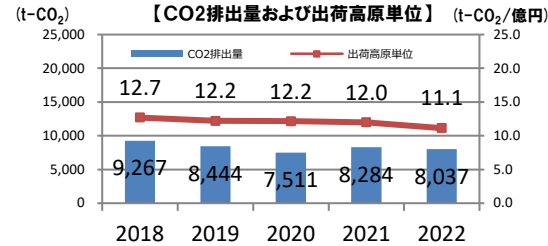
材料調達、販売・返品  
廃棄物物流の荷主として

総発熱量 116,431 GJ

エネルギー

軽油	2,502,315 L
重油(内航)	149,336 L
軽油(廃棄物物流)	431,166 L

CO<sub>2</sub>排出量 7,993 t-CO<sub>2</sub>



CO<sub>2</sub>排出量  
出荷高原単位

11.1  
/11.7  
t-CO<sub>2</sub>/億円



民生

事務所、展示場、倉庫  
賃貸拠点

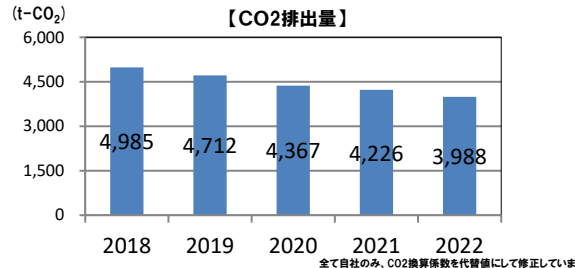
総発熱量 89,587 GJ

エネルギー

電力	6,652,683 kWh
電力(夜間)	1,258,582 kWh
LPG	6,643 m <sup>3</sup>
都市ガス	5,945 m <sup>3</sup>
温水・冷水	7,824,062 MJ

自社拠点のみ

CO<sub>2</sub>排出量 3,988 t-CO<sub>2</sub>



5年度間  
平均原単位  
削減率  
(CO<sub>2</sub>/延床面積)

98.2%/  
99.0%



施工

総発熱量 28,432 GJ

エネルギー

電力	713,972 kWh
軽油	555,022 L

CO<sub>2</sub>排出量 1,764 t-CO<sub>2</sub>

サンプルデータによる  
推定の為  
目標設定値なし

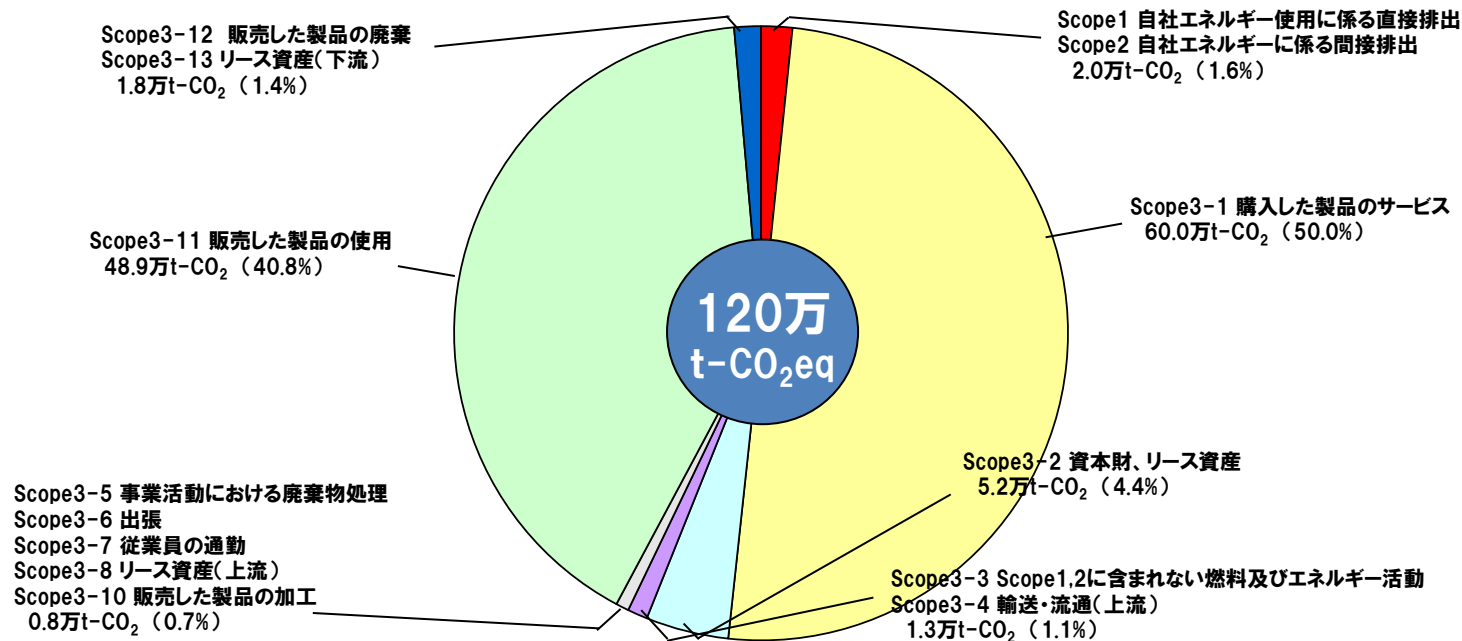
データの算出について

共通 : CO<sub>2</sub>排出量 = 各エネルギー消費量 × CO<sub>2</sub>排出量原単位(環境省「温室効果ガス排出量算定方法」による。[電力は各年度の“代替値”を使用])

生産 : 自社工場の実績データ 物流 : 荷主実績データ(燃費法およびトンキロ法による算出) 民生 : 自社およびパナソニック ホームズ協業会社の実績データ(賃貸拠点の按分データ含む)

施工 : 新築現場のみ サンプルデータ(建機の稼働時間・燃費・台数)と供給実績からの換算

地球温暖化防止



カテゴリ	活動量
Scope 1 直接排出	工場における生産エネルギー、事務所エネルギー（灯油・都市ガス等）、社用車エネルギー
Scope 2 エネルギー起源間接排出	工場における生産エネルギー、建設現場における工事エネルギー（※1）、事務所エネルギー
Scope 3 カテゴリ1 購入した製品・サービス	原材料・資材の調達量（金額及び物量ベース）、建設現場における工事エネルギー（※1）、解体工事におけるエネルギー（※2）、リフォーム工事、外構工事、海外事業（マンション等）等
Scope 3 カテゴリ2 資本財	資本財の金額
Scope 3 カテゴリ3 Scope 1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	電気・蒸気エネルギー使用量
Scope 3 カテゴリ4 輸送、配送(上流)	荷主分の輸送に係る輸送、廃棄物の輸送に係る輸送
Scope 3 カテゴリ5 事業から出る廃棄物	廃棄物種類別排出量
Scope 3 カテゴリ6 出張	従業員の交通費支給額
Scope 3 カテゴリ7 雇用者の通勤	従業員人数×営業日数
Scope 3 カテゴリ8 リース資産(上流)	テナント拠点の延床面積
Scope 3 カテゴリ9 輸送、配送(下流)	該当なし
Scope 3 カテゴリ10 販売した製品の加工	建設工事における電気の使用量（持分法適用会社及び代理店の新築工事）（※1）
Scope 3 カテゴリ11 販売した製品の使用	販売棟数×年間消費電力量×使用年数（60年）
Scope 3 カテゴリ12 販売した製品の廃棄	販売棟数×資源使用量（キープラン）
Scope 3 カテゴリ13 リース資産(下流)	カテゴリ11に含む。賃貸している床面積
Scope 3 カテゴリ14 フランチャイズ	該当なし
Scope 3 カテゴリ15 投資	該当なし

※1：工事エネルギーについては、プレハブ建築協会の環境行動計画「エコアクション2020」の建設現場のCO<sub>2</sub>算出基準に基づきエネルギー使用量算出  
 ※2：解体工事におけるエネルギーについては、平成21年度住宅・建築関連先端技術開発助成事業における「建築解体工事に伴う建設廃棄物量、解体工事費、再資源化、適正処理費用及び二酸化炭素排出量の概算システムに関する技術開発報告書」に基づき算定。

## 自己評価基準



2022年度 目標を達成しました。



2022年度 目標未達でしたが、前年度より改善しました



2022年度 目標未達および前年度より悪化。

目的

部門

## OUTPUT

2022年度  
実績/目標

自己評価

省資源

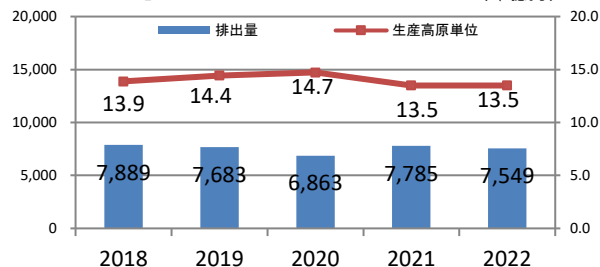
生産

部材生産、研究・開発  
製品試験、倉庫、事務所

### 廃棄物・有価物量 7,549t

発生区分	発生量
木くず	2,496t
金属くず	2,394t
ガラス陶磁器くず(廃石膏ボード含)	1,476t
廃プラスチック	591t
紙くず	87t
汚泥、廃油・廃酸・廃アルカリ	505t
合計	7,549t

【廃棄物・有価物量および生産高原単位】(t/億円)



生産高  
原単位

13.5  
/15.6  
t/億円



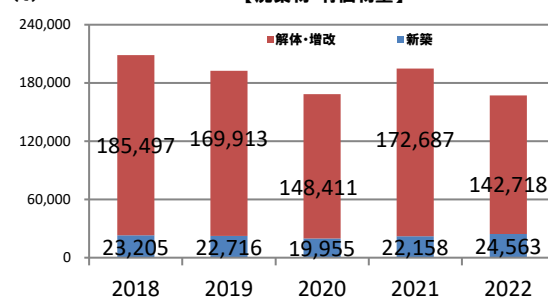
施工

新築・解体・リフォーム

### 廃棄物・有価物量 167,281t

発生区分	発生量
新築産業廃棄物	24,563t
解体・増改産業廃棄物	142,718t
合計	167,281t

【廃棄物・有価物量】



新築施工現場  
延床面積当り  
(2023/3末)

一般物件  
15.10  
/12.30  
kg/m<sup>2</sup>

都市型物件  
19.70  
/17.80  
kg/m<sup>2</sup>



# 生物多様性保全に関する環境パフォーマンス

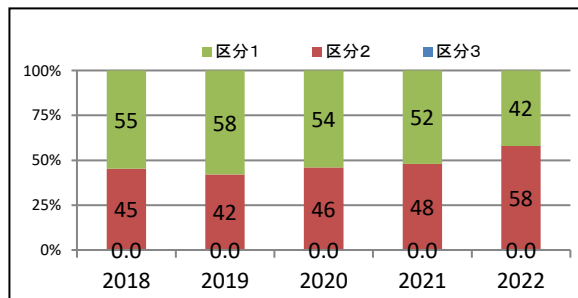
グリーン調達

生産・施工

### 木材グリーン調達実績

区分	内容	割合
区分1	適切に管理された森林から算出された木材・木質材料	42%
	木質系再生資源	
区分2	伐採時の合法性が確認された木材・木質材料	58%
	業界団体等によって合法性の認定が得られている木材・木質材料	
区分3	伐採時の合法性が確認できない木材・木質材料	0%

【木材グリーン調達区分比率】



区分C

ゼロ化  
/ゼロ化



データの算出について

廃棄物・有価物発生量については、自社工場の実績データ及び自社・パナソニックホームズ協業会社の建設段階における実績データ  
木材グリーン調達: 自社・パナソニックホームズ協業会社の木材調達実績データ